

このコーナーでは、市工業会・市商工会工業部会会員から応募のあった企業を紹介しています。

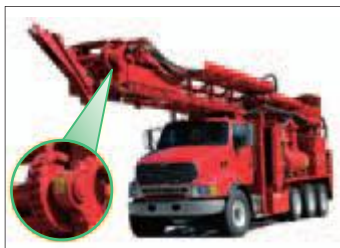


第2回 ㈱杉山チエン製作所

設立 昭和21年10月
住所 狭山ヶ原11の14
<http://www.sychain.com/japan.html>
☎2934・1111

33人の命をつなぐ

2010(平成22)年8月にチリの鉱山で発生した、鉱山作業員33人が生き埋めとなった落盤事故を覚えていますか。事故発生から数日が経過し、生存者の安否が不明な中、掘削機で直径15cmの穴を深さ約630mまで掘り下げ、穴を通して生存者が確認されました。その掘削機に使用されたチェーンが、㈱杉山チエン製作所で製造されたものでした。



始まりはオートバイのチェーン

今や世界の企業と取引をしている㈱杉山チエン製作所ですが、その歴史は、終戦後間もない昭和21年にスタートしました。創業者の杉山定太郎が独学で得た技術で、オートバイおよび自転車のチェーンを製造したことに始まります。その後売り上げを伸ばし、

昭和53年には米国ニュージャージー州に販売子会社を設立し、海外へ進出していきました。そしてローラーチェーンの総合メーカーとして成長し、そのチェーンはエスカレーターや立体駐車場、フォークリフト、船舶、港湾設備、プラントなど、多種多様な産業機械の重要な部品に使用されています。

世界に連なる

チェーンは、同じ形の部品が連なるシンプルな構造です。しかし、その製作には、マイクロン単位の精度が必要です。一般的には、チェーンの軸受け(ブッシュ)には小さな金属の継ぎ目が残ります。㈱杉山チエン製作所は、継ぎ目なしのブッシュ製造技術およびパテントを取った特殊表面処理により、疲労強度を世界最高水準に引き上げました。それにより、チェーンの寿命はより長くなり、丈夫なものとなりました。加工から熱処理、組み立てにいたるまでの一貫生産をベースに、絶えず品質改良に努め、工程を合理化し、均一・高品質の製品を生産することにより、総合チェーンメーカーとして国内はもとより、海外においても世界の一級品として格付けされています。

